

6月8 - 12 日週の豪ドル円レビュー

June 15, 2009

株高に支えられ豪ドル円は 80 円乗せ

High : 80.45 円 Low : 76.91 円

Close : 79.96 円

前週の豪ドルは堅調。週初こそ下押す場面も見られたが、その後は1万円の大台を回復した日経平均など株式市場が堅調な推移となったことから、リスク選好の買いが強まった。また、週中に発表された豪雇用統計の好結果も材料視され、豪ドル円は昨年10月以来なる80円台を回復。一時80.45円まで上昇した。

6/8 (月) 77.74 円

下落。欧州時間に強まったユーロ売りの動きに連れて、豪ドルも軟調に。豪ドル円は一時77.08円まで下落した。その後、NY 時間には株高の動きから反発を見せるも、戻りは限定的だった。

6/9 (火) 78.04 円

もみ合い。東京時間にクロス円の売りが入ったが、欧州勢参入後には全戻しとなるなど方向感は窺えず。また、NY 時間には好調な入札結果を受けてドル売りが強まったが、ドル円の下落に相殺され、豪ドルは小幅な値動きに止まった。

6/10 (水) 78.80 円

続伸。東京時間は日経平均が1万円手前まで上昇したこともあり、円売りが優勢に。一時は79.58円まで上昇した。しかし、NY 時間に米長期債利回りが上昇すると、ドル買いの動きが強まったことから78円半ば付近まで反落した。

6/11 (木) 79.99 円

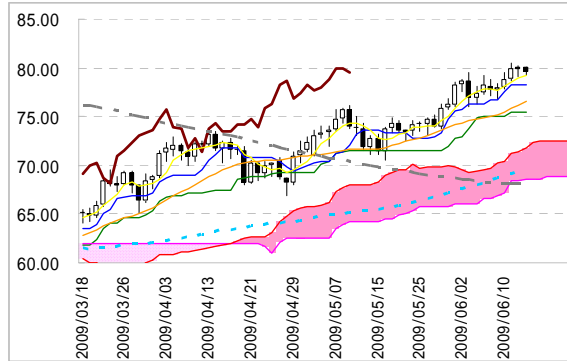
続伸。豪雇用統計が予想よりも強い結果となったため、序盤から買いが優勢に。その後も堅調な地合いを維持し、NY 時間には昨年10月以来となる80円の大台乗せを達成した。

6/12 (金) 79.96 円

もみ合い。欧州時間にかけてはポジション調整の面からオセアニア通貨売りの地合いに。豪ドル円も79.11円まで下落したが、その後は戻りを試す展開となり、80円近辺まで反発して越週となった。

月日	High	Low
6/8 (月)	78.76 円	77.08 円
6/9 (火)	78.37 円	76.91 円
6/10 (水)	79.58 円	77.85 円
6/11 (木)	80.45 円	78.64 円
6/12 (金)	80.27 円	79.11 円

豪ドル円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

81.43 (08年9月16日安値)

80.45 (6月11日高値 = 年初来高値)

= = 先週末のNYクローズ 79.96 円 = =

78.27 (日足一目均衡表・転換線)

76.57 (21日移動平均線)

豪州の重要指標結果

6/9 (火) 【結果】 (前回)

5月 NAB 企業信頼感指数 [-14] (-10)

5月 NAB 企業景況感指数 [-2] (-14)

6/10 (水) 【結果】 (前回)

6月ウエストパック消費者信頼感指数 [+12.7%]
 (-4.3%)

4月住宅ローン貸出 [+0.9%] (+4.8%)

6/11 (木) 【結果】 (前回)

5月就業者数 [-1700人] (+2万5400人)

5月失業率 [5.7%] (5.5%)

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 76.50 - 81.50 円

今週の豪ドル円は、底堅いながらも伸び悩みとなるか。外銀筋からは「明確な転換点があったわけではないが、マーケットでは豪ドルの上がり過ぎに対する懸念が広がっている」という。なお、今週は16日に2日開催分の金融政策決定理事会議事録が発表となるが、政策金利が市場予想通りであったことから、豪ドルへの反応は極めて限定的なものに止まる見通しだ。